

第三学年〇組 国語科学習指導案

単元 登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう「まいごのかぎ」（光村図書）

指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、「誰が」「どうした」という主述の関係や前後の文脈から登場人物の言動の理由や気持ちを想像することができるようになってきている。そこで、語彙が豊かに広がり、少しずつ異化の読みができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、自分の生活経験と結び付けて、自分の好きな場面についてまとめて伝え合うことができるようにする。このことは、言葉を自覚的に捉えながら繰り返し文章に向き合い、自分の感じたことや考えたことを他者に表現していく、言語を手掛かりに豊かに想像し伝え合う子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第2学年「スーホの白い馬」の学習で、スーホと白馬がお互いを思い合う様子を具体的に想像することができるように学習してきている。本単元では、これらの上に立って、不思議な出来事に遭遇するりいこの気持ちの変化やその理由を捉えることができるようにする。このことは、第4学年「ごんぎつね」の学習で、情景から兵十やごんの気持ちの変化を想像する学習へ、第5学年「大造じいさんとガン」の学習で、様々な描写を基に、大造じいさんの心情や人物像、物語の全体像を具体的に想像する学習へと発展していく。
- 本単元の指導に当たっては、登場人物の行動、会話、気持ちを表す叙述を基に、中心人物りいこの気持ちの変化を捉え、自分が好きな場面について友達と伝え合うことができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、学習者用端末を用いて、前時までにまとめた各場面のりいこの気持ちと学習計画を振り返り、「りいは、さいしょとさいごで、どのように変化したのかについて話し合おう」という本時学習のめあてをつかむことができるようにする。次に、展開段階では、はじめに、読みの視点を共有し、めあてに対する自分の考えをつくるようにする。そして、全体交流を行い、りいこがバス停の出来事だけでなく、色々な不思議な出来事を通して、少しずつの気持ちの変化したことを想像し、自分の考えを付加、修正、強化することができるようにする。最後に、終末段階では、本時学習を振り返り、自分の考えをまとめる次時の見通しをもつことができるようにする。

目標

- 1 「うつむく」「あつけにとられる」といった気持ちを表す語句の量を増やしたり「まばたきするかのよう」「しっぽみたい」といった比喩が人物の様子を具体的に表す役割があることを理解したりすることができるようにする。
- 2 りいこが拾ったことで起こる不思議な出来事を通して、自分に自信がなく悲観的だったりりいこが、自分のしたこと自信をもち前向きな気持ちになることを想像して、好きな場面を友達と伝え合うことができるようにする。
- 3 自分の好きな場面を伝え合うことについて関心をもって、意欲的にりいこの気持ちの変化を捉えたり、りいこに共感することを考えたりしながら、自他の考えを交流して友達の考えのよさを見付けようとする態度を育てる。

計画（6時間）

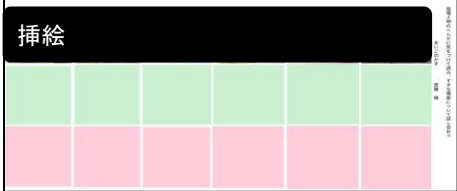
- 1 題名読みを行い、教材文の初発の感想を交流させ、学習課題と学習計画をつかませる。————— 1
- 2 自分の問いやみんなの問いを解決させ、りいこの気持ちの変化について捉えさせる。————— 4
(1)場面分けについて ----- ① (2)自分の好きな場面の問いの解決について --- ①
(3)解決したことの交流について ----- ① (4)全員で解決する問いについて ----- ①本時
- 3 自分の好きな場面についてまとめさせ、友達と交流させる。————— 1

本時 令和6年6月14日（金曜日） 第5校時 3年菊組教室において

- 主眼 1 余計なことばかりしていると落ち込んでいたりりいこが、鍵をさして起こる不思議な出来事を通して、自分のしてきたことに対して、少しずつ前向きな気持ちに変化することを具体的に想像することができるようにする。
- 2 りいこの言動や場面の様子を表す叙述を基に、前時までの場面のりいこの気持ちとつなげて考えたり、自他の考えの共通点や相違点を整理したりして、りいこの気持ちの変化について話し合うことができるようにする。

準備 学習者用端末、叙述カード、挿絵

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援 ※ICT活用												
導入	<p>1 「まいごのかぎ」を読み進めてきた進捗状況と学習計画を振り返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あじの開きの出来事のりいこは、かなり反省してたな。 ・バス停でのりいこは、これまでと違って悩んでたな。 ・結局りいこは、どのようにへんかしたのかな。 <p>りいこは、さいしょとさいごで、どのようにへんかしたのかについて話し合おう。</p>	<p>○本時学習のめあてを捉えることができるように、前時にまとめた文章構成図（緑：問い、ピンク：りいこの気持ち）や学習計画を学習者用端末で共有する。</p> 												
展開	<p>2 見通しを基に、問いに対する自分の考えをつくったり、話し合ったりしてりいこの変化を具体的に想像する。</p> <p>(1) 見通しを基に、問いに対する自分の考えをつくる。</p> <table border="1" data-bbox="225 712 940 1032"> <thead> <tr> <th>りいこの変化</th> <th>叙述とわけ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>りいこが、自分がしてきたことに落ち込んでいたけれど、元気な楽しい気持ちになったと思う。</td> <td>わけは、「ダンスに見とれていた」「なんだか楽しそう」と書いてあって、楽しい気持ちになったことが分かるからです。</td> </tr> <tr> <td>りいこは、余計なことばかりと思っていたけれど、自分が誰かの役に立ったと明るくなったと思う。</td> <td>わけは、「なんだか楽しそう」とあって、バスのダンスに見とれたり、みんな楽しみたいことに気付いたりしたからです。</td> </tr> <tr> <td>りいこは、落ち込んでいて自分に自信がなかったけれど、自信をもつことができるようになったと思う。</td> <td>わけは、「みんなも」とあって、鍵をさしたことは、これまでの場面のみんなのしたことにつながっていたからです。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 全体交流を行い、りいこが少しずつ前向きになることについて、自分の考えを付加、修正、強化する。</p> <table border="1" data-bbox="225 1122 940 1435"> <tr> <td>かぎを見付ける前のりいこ</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・始め、すぐく落ち込んでいたな。 ・自分に全く自信がない様子だ。 ・「また」と、どんどん落ち込むな。 ・やめたいけれど、やめられなくなって、落ち込んでいたな。 ・少し楽しみ始めていたな。 ・自分のことが嫌になったな。 ・不安でいっぱいにもなったな。 ・自分のしたことをしてもよいという気持ちになった。 </td> </tr> <tr> <td>【不思議な出来事】 桜の木の出来事のりいこ ベンチの出来事のりいこ 魚の開きの出来事のりいこ</td> </tr> <tr> <td>バス亭の出来事のりいこ</td> </tr> </table> <p>なぜ、りいこが見たうさぎは、嬉しそうに手を振っていたのか。</p> <p>・りいこが、少しずつ元気になったことが嬉しかったと思う。 ・自分のしたことを何でも余計なことと思っていたけれど、そうではなかったことに気付いてくれたことだと思う。 ・自分のしたことを少しずつしていったからだと思う。 ・うさぎを書いたことも余計ではなかったと気付いたこと。 ・自分もしたことをすることが大切だと分かったこと。</p> <p>これまで、自分は余計なことばかりしていると落ち込んでいたりいこの気持ちは、桜の木、ベンチ、魚の開き、バスの出来事を通して、少しずつ前向きな気持ちに変化した。</p>	りいこの変化	叙述とわけ	りいこが、自分がしてきたことに落ち込んでいたけれど、元気な楽しい気持ちになったと思う。	わけは、「ダンスに見とれていた」「なんだか楽しそう」と書いてあって、楽しい気持ちになったことが分かるからです。	りいこは、余計なことばかりと思っていたけれど、自分が誰かの役に立ったと明るくなったと思う。	わけは、「なんだか楽しそう」とあって、バスのダンスに見とれたり、みんな楽しみたいことに気付いたりしたからです。	りいこは、落ち込んでいて自分に自信がなかったけれど、自信をもつことができるようになったと思う。	わけは、「みんなも」とあって、鍵をさしたことは、これまでの場面のみんなのしたことにつながっていたからです。	かぎを見付ける前のりいこ	<ul style="list-style-type: none"> ・始め、すぐく落ち込んでいたな。 ・自分に全く自信がない様子だ。 ・「また」と、どんどん落ち込むな。 ・やめたいけれど、やめられなくなって、落ち込んでいたな。 ・少し楽しみ始めていたな。 ・自分のことが嫌になったな。 ・不安でいっぱいにもなったな。 ・自分のしたことをしてもよいという気持ちになった。 	【不思議な出来事】 桜の木の出来事のりいこ ベンチの出来事のりいこ 魚の開きの出来事のりいこ	バス亭の出来事のりいこ	<p>○自力解決、ペア解決、グループ解決から学習相手を選択して学習を進めることができるように、自分がどの場面の問いを解決したのかについて、挿絵を基に、学習者用端末で共有する。</p> <p>○主張、根拠、理由付けの順で考えをまとめることができるように、必要に応じてモデルを学習者用端末で共有する。</p> <p>○自他の考えを整理することができるように、共通する理由ごとにグループ分けをしたり、反復する言葉に波線を引いたりしながら、板書を構造化する。</p> <p>○りいこが少しずつ前向きになったことを想像させるために、下校始めとバスを見送るりいこを比較しながら、りいこが徐々に変化したことを問う発問する。</p>
りいこの変化	叙述とわけ													
りいこが、自分がしてきたことに落ち込んでいたけれど、元気な楽しい気持ちになったと思う。	わけは、「ダンスに見とれていた」「なんだか楽しそう」と書いてあって、楽しい気持ちになったことが分かるからです。													
りいこは、余計なことばかりと思っていたけれど、自分が誰かの役に立ったと明るくなったと思う。	わけは、「なんだか楽しそう」とあって、バスのダンスに見とれたり、みんな楽しみたいことに気付いたりしたからです。													
りいこは、落ち込んでいて自分に自信がなかったけれど、自信をもつことができるようになったと思う。	わけは、「みんなも」とあって、鍵をさしたことは、これまでの場面のみんなのしたことにつながっていたからです。													
かぎを見付ける前のりいこ	<ul style="list-style-type: none"> ・始め、すぐく落ち込んでいたな。 ・自分に全く自信がない様子だ。 ・「また」と、どんどん落ち込むな。 ・やめたいけれど、やめられなくなって、落ち込んでいたな。 ・少し楽しみ始めていたな。 ・自分のことが嫌になったな。 ・不安でいっぱいにもなったな。 ・自分のしたことをしてもよいという気持ちになった。 													
【不思議な出来事】 桜の木の出来事のりいこ ベンチの出来事のりいこ 魚の開きの出来事のりいこ														
バス亭の出来事のりいこ														
終末	<p>3 りいこの変化に対するする考えをまとめ、本時学習を振り返り、次時の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ叙述を根拠とする友達と話すと考えが深まった。 ・次は、好きなところをまとめて伝え合いたいな。 	<p>○本時学習を振り返ることができるように、自分の考えのよさ、読み方のよさの二つの観点を提示する。</p>												